



個人懇談・休日参観日を終えて

お忙しい中、個人懇談・休日参観日にご参加いただき誠にありがとうございました。個人懇談では、短い時間ではありましたが子ども達の成長を共に振り返り、これからの姿を語り合う温かなひとときとなりました、ご家庭での様子やお気持ちを伺う中で、改めて「育ちは幼稚園と家庭の両輪」であることを感じました。これからも一人一人の「育ち」を大切に参ります。

休日参観日では、休日ということもあり普段なかなか幼稚園に足を運ぶ機会の少ないお父様方の姿も多く見られ、子ども達は照れくさそうに、けれども誇らしげな表情で活動に取り組む姿が見られましたね（笑）一緒に体を動かしたり、ゲームをしたり、製作をしたりする中で、子ども達が見せる「幼稚園での顔」に驚かれる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか（笑）

この一日が、ご家庭での会話の中でも「幼稚園ってこんなところなんだね！」と語り合える温かな時間になれば幸いです。お忙しい中、足を運んで下さった保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。



♪♪月表現遊びが始まります♪♪月

子ども達の活動に「表現遊び」が加わります。来月の生活発表会に向けての活動でもあります、本来の「ねらい」はそこではありません。仲間と気持ちを合わせて歌ったり、声や動きで登場人物の思いを表現する中で、子ども達は「自分の感じたことを自分の言葉や身体で伝える力」を育みます。

表現遊びの過程では、役を交代したり、意見を出し合ったりしながら、一人ひとりの思いや考えが交わります。その中で生まれるのは「みんなで作る」ことの喜び！教師達はその瞬間を受け止め、子ども達が自ら考え、表現する姿を引き出します。

舞台上で輝くのは結果の一場面にすぎません。そこに至るまでの過程に、感性・表現力・主体性を育む大切な学びがあるのです。

△△△お知らせ△△△

令和7年度「環境維持費」15,000円を
12月5日（金）の口座振替日に特別保育料
その他と一緒に引き落とさせていただきます
のでご留意下さい。



♡メディナ博士の名言♡

科学の良いところは、誰の肩を持たない
ことだ！そして、妥協もしない！
根拠の無い俗説は、跡形も無く消えてし
まう！！



子育てに必要なのは「正しい」情報！

俗説：胎児にモーツァルトを聴かせると大きくなったら算数や数学の成績が良くなる

事実：それを望むなら幼児期から「衝動をコントロールする力」を育てなさい！

俗説：幼児期に言語教育の動画を見せると言葉が増える

事実：逆にマイナスのケースがある… あなたの口からの「生」の言葉が一番！

俗説：子どもの知能を伸ばすのは知育玩具を与え、幼児教育の動画を見せよう

事実：子どもの知能を伸ばす最高のテクノロジーは無地のダンボール箱とクレヨンを与え2時間遊ばせる。

最悪なのはあなたの家にある最新の薄型テレビだ！

俗説：「あなたは頭がいい」と言い聞かせると、子どもは自信を持つ

事実：そんな子育てをしていると、子どもは難問にチャレンジしなくなる！

「頭が良い」と褒めるのではなく「努力」を褒めなさい！

俗説：子どもは自分で幸せを見つける

事実：幸福になれるかどうかは「友達関係」だ！

どうやって「友達を作り」、どうやって「友達関係を維持していくか」だ！

先日読んだ本に、脳科学者ジョン・メディナ博士の「子育てに必要なのは正しい情報」について書かれていました。シンプルですが印象に残る一文です。ここでいう「正しい情報」とは、世の中の流行や誰かの体験談ではなく、科学的に確かめられた知識のことです。

博士によると、子どもの脳は安心できる環境でこそ、最も良く働きます。叱られたり、緊張していると、脳は「考える」より「身を守る」方を優先するそうです。なので、たくさんの挑戦や学びを生み出すためには、まず、「安心して失敗できる空気」が欠かせません。

もう一つは「感情の理解」だそうです。子どもが泣いていたり、怒った時は「悲しかったね」「悔しかったね」と、言葉にして受け止めてあげると、感情を整理する力が育つそうです。幼い頃に自分の気持ちを理解してもらった経験は、やがて「他人の気持ちを想像できる力」へと繋がっていきます。

子どもの自主性を育てる上で大切なのは「教えるよりも考えさせる！」と博士は言っています。「どう思う？」「やってみる？」と投げかけるだけで、脳は自分で考えはじめます。正しい答えを教えるより、試して失敗しながら学ぶ方が、ずっと深い学びになるのです。

ジョン・メディナ博士の言葉に耳を傾けると、白ゆり幼稚園が大切にしている4つの柱「心の力・学ぶ力・躰の力・体の力」が、まさに「脳が育つ道筋」と重なっていることに気がきます！

「心の力」は、安心と信頼の中で育ちます。教師達の子ども達への寄り添いと見守りが「自信・意欲・思いやり」という「豊かな心」となり「生きる力」の土台となります。

「学ぶ力」は、好奇心から生まれます。白ゆりっ子達は、自分自身の体験からたくさんの「心の揺れ動き」を経験して、自分で考え、行動して、経験して、工夫して…小さな努力を積み重ねながら一步一步成長していきます。

「躰の力」は、自分の気持ちをコントロールする力です。我慢をしなければならない時にちゃんと我慢ができる、意欲や思いやり、最後までやり抜く粘り強さ…これらは「気持ちをコントロールする力」から育ちます。博士の研究では自己コントロール（セルフコントロール）こそ将来の成功を大きく左右する大切な力だと示しています。

脳は身体の動きを通して発達します。運動遊びや体操をバランス良く経験することで脳の神経回路を広げ、集中力や思考力の基礎を作ります。白ゆり幼稚園の「体の力」は、まさに「体を動かして脳を育てる」実践です。

白ゆりの4つの柱は、感情・思考・身体・社会性をバランス良く伸ばす「脳の育ちの順序」とピッタリ合っています。最新の脳科学と長年の現場経験から生まれた保育の知恵…その両方が息づく幼児教育の場として、これからも子ども達の「育つ力」を信じて、見守っていきます。